



「八戸学院グローバルクラブ」について説明する大谷真樹学長(左)＝14日、八戸プラザアーバンホール

同日、八戸プラザアーバンの授業料などを負担しても、同ホールで開催したセミナー「人口減少社会へ全ての解決策はフィリピンにある」の中で、八戸学院大の大谷真樹学長が発表した。学校法人が進める海外展開の一環で、企業には介護やIT分野を学んだフィリピンの学生を紹介。将来的には、インバウンド(訪日外国人旅行)に対応したサービス業の人材発掘にもつなげる考え。

同法人によると、入会企業には海外の学生の生活費や現地日本語を学ぶため

た年会費(10万〜30万円)も支払うシステムという。八戸市内外の社会福祉法人の関係者らが参加したセミナーでは日本貿易振興機構(ジエトロ)の鈴木有理佳氏がフィリピン国内の現状を解説。経済の好調は持続するとの見方を示した一方、「貿易赤字の拡大などリスクもある」と報告した。

新サービス来月開始

八戸学院グループ

企業に海外人材紹介

介護やIT分野の比学生

学校法人光星学院(法官新一理事長)は14日、子会社の八戸学院グループが企業向けサービス「八戸学院グローバルクラブ」を来年1月に開始すると明らかにした。企業から年会費などを徴収し、介護やIT分野の海外人材を紹介する事業。日本への就労を望む外国人と、優秀な人材を確保したい企業の双方のニーズを満たすのが狙い。

(福田駿)